

AMDAなど  
救援チーム

# 26日旧ユーゴ入り

アジア医師連絡協議会（AMD A・本部岡山市）など国内のNGO（非政府組織）六団体でつくる「日本緊急救援NGOチーム」は二十六日、民族紛

争が続く旧ユーゴスラビア入りし、医療、教育を柱とした援助活動を展開する。

参加するのは昨年、ソマリア難民への救援を展開したAMD A、立正佼成会（本部東京）J C 国境なき奉仕団（同）アフリカ教育基金の会（同北九州市）など。

二十六日に参加団体の代表ら五人が現地に飛び、政府関係者や国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）などと合意書交換。

来月中旬から医師、看護婦、コーディネーター計十六人を派遣する。十二月末までの活動期間中、各団体から随時、応援部隊を派遣。短期を含め派遣者は延べ約百人に上る見込み。

現地ではクロアチアのザグレブを本拠地に計五カ所に事務所を開設。被災住民や難民への医療援助のほか戦闘で心が荒廃した

子供たちの情操教育を目的に、文房具を配布したり遊具の建設に取り組む。また農業や軽工業の職業訓練も行い、自立を支援する。

活動にかかる費用は約四億円。外務省の助成金約五千万円のほか、AMD Aが医薬品を調達、各参加団体の自己拠出や寄付でまかなう。